

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://www.lions330-a.org/>



2012 For the Future



WE SERVE

巻頭特集

地区運営を担うリーダーたちに聞く

ライオンズクラブの地区運営を担うリーダーたちに聞く

PR・情報委員会では地区の運営を担う地区ガバナー、ガバナーエレクト(取材時は第一副地区ガバナー)並びに第一副地区ガバナー予定者(取材時は第二副地区ガバナー)に座談会形式でお話をお伺いしました。



梶原委員長 (PR・情報委員会)

今日は、お集まりいただきありがとうございます。今季の地区ニュース最終号(for the future号)の特集記事として、地区内のメンバーに対し、今期のガバナー、次期ガバナー、その次のガバナー予定者からのメッセージを伝えたいと考えています。柴田副委員長から順に質問させていただきますのでよろしくお願いいたします。

柴田副委員長 (PR・情報委員会)

地区のリーダー、及びリーダーになられる方、三人にそれぞれにお尋ねします。まずは地区が抱える課題をどのように考えておられるかお聞かせください。

大石地区ガバナー

やはり課題は会員減少の問題だと思います。経済環境などの影響もあり、メンバーの減少傾向が続いています。今期は会員維持委員会及び会員増強委員会を設置してそれぞれ様々な検討を行っていただき、セミナーも実施されましたが、会員維持と会員増強という課題を区別してご検討いただいたのはよかったと思います。



阿久津地区ガバナーエレクト (インタビュー時は第一副地区ガバナー)

そうですね、会員増強は当然ながら大きな課題ですが、会員の減少に歯止めをかけなければなりません。そのためには地区の運営などにも工夫が必要なのかもしれません。様々な角度から地区のあり方を検討すべきだと思います。

鈴木第一副地区ガバナー予定者 (インタビュー時は第二副地区ガバナー)

お二人と同じ認識です。会員増強や会員維持の問題は、その他の地区の運営上の課題と同様に、継続して検討しなければなりません。次期、あるいはその次といった各期の地区の代表が意見を交換して対応していかなければなりません。

柴田副委員長 (PR・情報委員会)

地区内のクラブを取材して感じるのですが、クラブの会員数が10人程度に減少し、平均年齢も高齢化して、世代交代も進んでいない。しかしながら、みんなで力を合わせて仲良くやっているクラブも多くあります。これはこれでほほえましいクラブ運営だと感じますが…

大石地区ガバナー

確かに地区内にはそうしたクラブがたくさんあります。もちろんそうした“マイペースでゆったり”したクラブ運営を否定するものではありません。しかし、そうしたクラブに、いかに若い世代のメンバーや女性会員を取り込み、皆さんで仲良くやっていただけるか考えてあげなければならないと感じています。

阿久津ガバナーエレクト

クラブの活性化は大変重要な問題だと思います。リテンション、あるいは再構築と言ってもよいかも知れませんが、私が所属する東京赤坂ライオンズクラブでは50周年を機に活性化のためクラブを解散し、ゾーン内のクラブまたは子クラブと共に新たにクラブを発足するという考え方を話し合っています。クラブに個性があってもよいと思うし、メンバーの個性にあったクラブを自由に選べる仕組みがあってもよいかも知れません。



鈴木第一副地区ガバナー予定者

私は、ゾーンやリジョンなど地域のクラブが合同で奉仕活動を行ったり、合同の例会を運営するといった連合的な運動をもっと積極的に行うべきだと思います。また、メーキャップも、地区内ではもっと気軽にでき、様々なクラブの運営を知ることも大切だと思います。ロータリークラブなどは気軽にメーキャップできるようです。そのようなことは参考にすべきだと思います。

柴田副委員長 (PR・情報委員会)

次に、事務局運営を含めた総合的な地区運営や、最近ではB地区やC地区のように年次大会も代議員会だけ行う地区もありますが、年次大会やクラブの周年行事などについてもご意見がありましたらお話し下さい。

大石地区ガバナー

まず、事務局運営に関してはできる限りの合理化を進めなければなりません。地区のメンバーも減少している現状では早く手を打たなければなりません。年次大会については今年は第二副地区ガバナー選挙に5人の候補者が立候補され、選挙を行うことになったので、代議員会の開催時間を1時間早めてもよかったのではないかと反省しています。

阿久津ガバナーエレクト

地区内の情報伝達はできる限り、ITを駆使した方法で行っていかねばなりません。ついてこれないというメンバーがいるかもしれませんが、丁寧にご指導しながら、eMMRを導入している国際協会に準じて、新たな伝達方法を導入せざるを得ません。また、年次大会については基本的に代議員会と式典を別の日に実施したほうが良いのではないかと考えています。



鈴木第一副地区ガバナー予定者

地区の運営の合理化は当然のことですが、地区の規模に応じたスリム化も考えていかねばなりません。事務局の経費なども地区のメンバー数に応じて対応すべきかもしれません。また、年次大会については私も、代議員会と式典を別々に行ったほうが良いのではないかと思います。

梶原委員長 (PR・情報委員会)

単年度では解決できない課題がたくさんあります。法人化の検討も含めて、是非とも期をまたいで継続して問題に対応していただけるようお願いしたいと思います。



柴田副委員長 (PR・情報委員会)

お話を伺っていると、現ガバナーから次期ガバナーそしてその次のガバナー予定者へと継続して、問題を話し合い引き継がれている印象を受けますが、こうした話し合いは今までも行われていたのでしょうか？

大石地区ガバナー

問題意識は話し合ったことがあります。先輩ガバナーも同様にしてこれたのではないかと思います。

阿久津ガバナーエレクト

幸い、わたくし三人は多くの地区メンバーの支持をいただき、選挙などもなく、順調に信任を受けてきています。問題意識の共有ができやすい環境であったと思います。

鈴木第一副地区ガバナー予定者

私も第二副地区ガバナーとして、様々な機会にガバナーや第一副地区ガバナーとお会いして話し合う機会が持てたことはとても良い勉強になりました。

柴田副委員長 (PR・情報委員会)

最後に今年は法人化検討委員会が設置され、ガバナーからライオンズクラブの法人化について検討するように諮問されていますが法人化について一言ずつお願いします。

大石地区ガバナー

ライオンズクラブの法人化について、今期は“ライオンズクラブ法人化検討委員会”を設置し、池田和司委員長のもとで、弁護士、公認会計士、税理士の資格を持ったメンバーが10回にわたる委員会を開催し、法人化実現の方向で検討していただきました。また、その間に、330-C元地区ガバナー参議院議員大野元裕氏並びに東京JC理事の有賀靖典氏を講師に法人化セミナーを開催して学習をいたしました。加えて、5月13日の複合地区年次大会での政策等分科会でも法人化に向けた大きなうねりが巻き起こっています。

阿久津ガバナーエレクト

国の法人制度も変わっていますので、さらに1年間、前期から通算して2年間じっくりと検討していただいた結果をしっかりと次期に引き継いで、結果を期待したいと思います。

鈴木第一副地区ガバナー予定者

私も、十分時間をかけて検討された結果をしっかりと受け止めて、引き継ぎたいと思います。

柴田副委員長 (PR・情報委員会)

今日はどうもありがとうございました。

“もっと友愛を！もっと奉仕を！” 「伝統と前進」第58回年次大会が開催される。

2012年4月22日(土)東京プリンス



次期第2副地区ガバナー選出選挙の開票結果(1回目投票)

2012~2013年度第2副地区ガバナー選出のための選挙の結果を報告します。

登録代議員数	474名	白紙票	3票
投票総数	473票	無効票	1票
有効票	469票	棄権票	1票

東京ワンハンドレッドLC所属	長井隆充L	107票
東京蔵前LC所属	L山田達	47票
東京文京LC所属	L吉田實	90票
東京田無LC所属	L塩月藤太郎	134票
東京大江戸LC所属	L熊野活行	91票

次期第2副地区ガバナー選挙の結果報告(決戦投票)

登録代議員数	474名	白紙票	16票
投票総数	467票	無効票	3票
有効票	448票		

東京ワンハンドレッドLC所属	L長井隆充	172票
東京田無LC所属	L塩月藤太郎	276票



2012年4月22日(土)ライオンズクラブ国際協会330-A地区第58回年次大会が東京プリンスホテルにて開催された。大会テーマは「伝統と前進」、ガバナーズ・テーマ「今を見据え、さあ始めよう」の呼びかけに地区内200クラブのメンバーら約600名が参加した。大石誠地区ガバナーは「今期330-A地区は「喜ばれる真(まこと)の奉仕・社会と共に」をスローガンにスタートしたが、真の奉仕を实践し、社会からも称賛されていることを実感した。」「この年次大会は地区内200クラブの「絆」を深める場でもある」とあいさつした。

また、地区年次大会は地区の総会とも言え、中でもクラブを代表する代議員会では、地区内各クラブの意思統一のための決議機関とされる。本大会では次期ガバナーに第1副地区ガバナーのL阿久津隆文(東京赤坂LC)を選出したほか、次期第1副地区ガバナーには第2副地区ガバナーのL鈴木定光(東京江東南LC)を選出した。また5名の候補者が立候補して選挙となった第2副地区ガバナーには、決選投票の結果L塩月

藤太郎(東京田無LC)が選出された。選出された阿久津ガバナーエレクトからは、来年の年次大会開催地は東京でホストクラブは東京赤坂ライオンズクラブとすることが発表された。

その他、経理分科会では2012-13年度地区クラブ費2000円/月、地区費1メンバー480円/月、家族メンバー240円/月、地区特別運営費200円/月、家族メンバー100円/月、地区大会費1メンバー100円/月、地区特別大会費50円/月。及び、IT/PR・情報分科会ではガバナー提出案件の“2012-13年度330-A地区アクティビティスローガン”を「みんなで築こう 奉仕の絆」とすることが決議された。

さらに、つづく記念講演では熊本県立大学理事長、復興庁復興推進委員会委員長、神戸大学名誉教授、財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長の五百旗頭真(いおきべまこと)氏が「安心安全なまちづくり」と「共生社会の実現」について講演した。



“山浦国際理事と語る会”が2012年4月27日(金)東京四ツ谷のスクワール麹町において開催された。山浦国際理事は「このたびの国難ともいべき大震災により、国家だけではなく我々ライオンズクラブも物事の考え方や価値観も大きく変わった。」「長引く経済の低迷もあり、会員減少などが続いており改革が求められている。世界は日本を見つめている。日本のパワーをしめすチャンスでもある。」と我が国から世界のリーダーを輩出すべきだと訴えた。講演では、ライオンズクラブ国際協会の組織や役割、国際理事の構成から世界の会員動向など詳しく説明がされたのち、LCIFの交付金制度や、東日本大震災に対するLCIF交付金の内容についても詳しく説明がなされた。

また、山浦国際理事が自ら国際理事としての実績とする“薬物乱用防止活動を全世界に発信する”きっかけともなった薬物乱用防止教育認定講師制度の提唱者であり、自らも最初の薬物乱用防止教育認定講師として現在も活躍しているL寺田義和(東京鶯谷LC)からは、この薬物乱用防止教育認定講師に関して、2010-12年日本全国の複合地区で「我々は、青少年健全育成を目的とする薬物乱用防止啓発活動を推進し、国連や関係省庁・団体と協力し努力する事を宣言します」という薬物乱用防止憲章が採択されたことや、1997年に第1回の認定講師を誕生させて以来の経緯が説明された。

“国際協会とLCIFの理解のために” 山浦国際理事と語る会が開催される

地区国際理事委員会



キャビネットだより

ライオンズクラブ法人化検討セミナーを開催

地区法人化検討委員会



2012年3月18日(日)ライオンズクラブ330-A地区主催の“ライオンズクラブ法人化検討セミナー”が地区法人化検討委員会の司会進行で開催された。地区委員長、地区ガバナーの挨拶の後、330-C地区前ガバナー参議院議員の大野元裕氏が「新しい公共とライオンズクラブ」と題して認定NPO法人制度などについて講演され、参加地区メンバーは熱心に聞き入っていた。続いて東京JC理事で税理士事務所の有賀靖典氏は「公益社団法人東京青年会議所に見る法人化について」と題して講演を行った。この日は日曜にもかかわらず地区内のメンバー約100名が参加した。



日本ライオンズメンバーシップセミナーが開催される

全国8複合地区

2012年4月1日(日)東京ベイ舞浜ホテルグランドにおいて、333複合地区がホストとなりケイ・フクシマ元国際会長(米国カリフォルニア州サクラメント)を迎えて“日本ライオンズメンバーシップセミナー”が開催され、日本全国8複合地区から約300人のメンバーが集まった。L後藤隆一元国際理事の司会で、高田順一国際理事が開会のあいさつをしたのち米日両国の国歌斉唱後GMT会則地域副リーダーとして後藤隆一元国際理事が開催経緯及び趣旨説明を行った。この後ライオンズクラブ国際協会統括部長の川平謙慈氏が「会員動向・グローバル会員調査報告」と題し日本の会員動向について様々な興味深い調査結果が報告された。K.K.フクシ



マ元国際会長は「日本ライオンズの活性化に向けて」参加メンバーと対話形式でクラブの強化と地区の発展について話し合った。また、パネルディスカッションでは山田實紘元国際理事の、大野元裕前地区ガバナー(330-C)長澤千鶴子副地区ガバナー(333-C)、L進藤義夫(330-A)クラブ会長がパネリストとなりパネルディスカッションを行った。最後はGMTエリアリーダーL後藤忍が締めくくった。

青少年育成を目的にツリークライミング体験会を開催

江戸川区篠崎公園



2012年4月22日(日)地区 青少年育成・レオ・ライオンズクエスト委員会は江戸川中央ライオンズクラブ、江戸川東ライオンズクラブと共に、江戸川区篠崎公園にてツリークライミング体験会を開催した。江戸川区内の小学1年生～中学3年生ら約50名を募集して行った。この体験会はツリークライミングを通じて、木や森、自然に感心を持ち、子供達の豊かな感性を育てることを目的として計画され、参加者の募集は「広報えどがわ」などで紹介された。この日は今にも雨が降りそうな天気だったが、予定通り開催され、途中から雨が降り出して午後2時にて中止された。しかし、体験出来た子供達はこれまで味わったことのない樹上の世界を経験し、勇気を持ってチャレンジすることにより、自信を得るとともに大きな満足感を手に入れ、嬉しそうに認定証を受け取り、次の開催を楽しみにしていた。



第8回青少年英語スピーチコンテストを開催

地区YE委員会

2012年3月25日(日)地区YE委員会では、キャビネット事務局近くのAP西新宿においてYE生の「英語スピーチコンテスト」を行った。スピーチコンテスト発表者は16名(大学生・高校生)。テーマには「東日本大震災に思う事」「私の趣味」「ボランティアを考える」「私の夢」の中から自由に選び、発表時間は5分間。審査員にはL石原宏高(衆議院議員)、L河合悦子(前地区ガバナー)、Ms. Reiko Minegishiらが、①日頃考えている事、意見等を英語で積極的に発表する意欲が見られる事 ②日常生活で、英語をより身近なものにするための取り組みがみられるか ③流暢であるか否かは問わないなどを選考基準として審査した結果、東京都知事賞(副賞、YE生として約3週間ヨーロッパに派遣)に早稲田大学1年の渡邊慎平君が選ばれた。その他、ガバナー賞には相野谷美理(東京女学館高校2年)、YE委員長賞には松本華奈(東京大学2年)、会場賞には高橋萌(東京純心女子高校1年)がそれぞれ選ばれた。



勇気と優しさを持つ
「社会・障害者福祉委員会セミナー」を開催

地区社会・障害者福祉委員会



平成24年3月23日(金)キャビネット事務局近くのAP西新宿にて330-A地区の社会・障害者福祉委員会セミナーが開催され、地区内のメンバーら約100名が参加した。会場には来賓として財団法人聴覚障害者教育福祉協会会長で参議院議員の山東昭子氏が訪れ、あいさつした。セミナーには「聴障者で健常者の子供を育てた体験談」(門間明子氏)「聴障者の子供を育てた母親体験談」(古谷明美氏)らが手話通訳を交えて体験談が披露され、参加者らは熱心に聞き入っていた。また、手話指導者による簡単なあいさつ、言葉の習得などの実技受講にも熱心に参加していた。



東京キングライオンズクラブが発足 4月3日

東京キングLC



2012年4月3日(月)東京四ツ谷の主婦会館プラザエフにおいて、東京キングライオンズクラブの結成会を兼ねた同クラブの4月第一例会が行われた。例会ではスポンサークラブの東京ライオンズクラブの元地区ガバナーL池崎道男が「ガイディングライオンとして挨拶したのち、通常の例会のように、幹事報告、キャビネット報告、会計報告などが行われ、クラブ運営に関して協議された。同クラブは東京JC出身者が中心になって構成され、例会は四ツ谷の主婦会館にて行われる。



東京レスキューライオンズクラブが発足 4月4日

東京レスキューライオンズクラブ



平成24年4月4日(水)東京レスキューライオンズクラブの結成式が行われた。スポンサークラブは東京上野東LC。「東京レスキューLCは各地区のクラブとともに活動することは勿論、公共団体と共に行動を起せるクラブにしたい」(クラブ会長)また、「緊急災害に対応できる私達のクラブは、東京レスキュー女性部会、東京レスキュー青年部、東京レスキュー炊出し隊、東京レスキューオヤジ隊」などを組織し、現在メンバー25名、サポート隊メンバー85名で発足した」(クラブ会長)なお、例会場は上野YANビル2階会議室で行われる。例会日は毎月第2日曜日(その他緊急時即対応)としている。



東京平成ライオンズクラブ結成会を举行 3月26日

東京平成LC

2012年3月26日(月)東京平成ライオンズクラブの結成式が都内で行われた。スポンサークラブ:東京数寄屋橋ライオンズクラブ 結成メンバー数:21名、平均年齢41歳、入会金:1万円、年会費:12万円、例会場所:リビエラ(青山)、例会日:第一例会=第二火曜日、第二例会=ネット例会 チャーターナイト:5月25日(金)ザ・キャピタルホテル東京 会長:L肥田野晴三、幹事:L田村聖二 所属:第2R第2Z



東京ゴルフライオンズクラブ結成式 4月23日

東京ゴルフライオンズクラブ

平成24年4月23日(月)東京ゴルフLCは、埼玉県森林公園ゴルフカントリー倶楽部にて結成式を行った。スポンサーは東京赤坂LCが務め、地区エクステンション委員会立会いのもと華やかに執り行われた。クラブ会則発表の際、東京ゴルフLC安本会長は、「音楽が世界共通語であるようにゴルフも世界共通のスポーツだ。2016年リオデジャネイロオリンピックでは正式種目になる。今後世界200カ国に展開するライオンズとゴルフは良い意味でコラボレーションするでしょう」と述べた。大石ガバナーよりお祝いの言葉とバッジが贈られ、ここに東京ゴルフLC が誕生した。330-A地区では226番目にRZは3R3Zとなる。例会は、第一、第三木曜日、第一例会は四ツ谷の主婦会館で第二例会はゴルフ場で行われる。



南三陸地方の被災者らにエステティックサービスを実施 12月15日

東京ヒルズLC

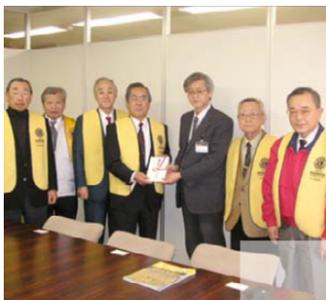
昨年、発足したばかりの東京ヒルズライオンズクラブでは2011年12月15日、16日の二日間にわたり、南三陸志津川ライオンズクラブの関係者を含む震災被災者約50名を被災地のホテルに招いて“エステティック”のサービスを実施した。サービスは思いのほか好評で、中には涙ぐんで喜び被災者もいたという。サービスを通じて被災者から悲しかった出来事やご苦労された話を聞き、今後も継続してサービスを提供したいと同クラブでは考えているとのこと。今回はサービスのほかにも東京赤坂ライオンズクラブや、東京麹町ライオンズクラブの協賛を得てカップ麺を480個寄贈した。



被災地視察を兼ねて福島県いわき市役所を訪問 3月8日

東京秋葉原LC

2012年3月8日(木)東京秋葉原ライオンズクラブメンバーらは福島県いわき市の市役所を訪れ、同役所幹部の保健福祉部部長に義援金を手渡した。この模様は、地元の福島日報で紹介されたとのこと。一行はその後、同市内の被災状況、復興状況について行政経営課長補佐から説明を受けた。



東京シティライオンズクラブ結成40周年記念式典 3月28日

東京シティLC



2012年3月28日(水)京王プラザホテルにて東京シティLC40周年記念式典が開催され179名の参加者があった。東京碑文谷LCがスポンサーとなり東京駒沢LCとして結成された同クラブのメンバー数は現在24名。様々なアクティビティを行っているが、中でもフィリピン共和国パラワン島の支援を21年間行っており、式典ではフィリピン共和国特命全権大使が祝辞を述べた。続く祝宴のオープニングではエイサー太鼓が披露された。会食中に、3名の歌手によるアトラクションが催されると会場は大いに盛り上がった。



介護付有料老人ホームを慰問 3月3日

東京GAIA LC

2012年3月3日(土)東京GAIAライオンズクラブは、毎年恒例となっている有料老人ホーム慰問を行った。今年も慰問に訪れたのは東京日野市にある“シルバービレッジ”、同クラブのメンバーのジューズさんが率いる「ハート・ツウ・ハート」の演奏や歌で入居者を楽しませた。施設では、こうした施設外部からの慰問が入居している高齢者にも大変好評で、入居者ばかりでなく施設職員も楽しみにしている。



盛大に第39回「戦没者追悼慰霊式典」を開催

4月7日

東京葵LC



2012年4月7日(土)東京葵ライオンズクラブは今年で39回目となる「戦没者追悼慰霊式典」を、桜が満開となった千代田区内の千鳥が淵戦没者墓苑で実施した。式典には千代田区長のほかライオンズクラブからは国際理事、LCIFコーディネーター、330-A地区ガバナーら総勢366名が参加して盛大に執り行われた。「日本の今日の繁栄は、ここに眠る御霊35万4332柱の犠牲のもとにもたらされていることを忘れることはできない。私たちはライオンズクラブのアクティビティとして、この式典を通して受け継がれていく日本人の精神に大きな意義を感じる。戦争を知らない世代にも精神的な意義を感じてもらえたらうれしい」と同クラブメンバーは語っていた。



桜花の下、靖国神社清掃奉仕

4月7日

東京法政LC



2012年4月7日(土)東京法政ライオンズクラブはメンバー20名が箒を片手に、靖国神社の清掃奉仕を実施した。同クラブでは法政大学出身の特攻隊員が勇敢に戦死したと伝えられていることなどから、クラブ発足以来毎年、春、秋の2回継続して実施している労働奉仕で、今年で7年目になる。この日は例年に比べ、やや遅い開花を待ちわびた人々で賑わう同神社の靖国会館周辺を掃き清めた。メンバーらは法政大学のシンボルタワーでもある、“ボアナーズタワー”を目にしたがらの労働奉仕に満足な様子であった。



代官山街歩き例会

4月14日

東京代官山LC



2012年4月14日(土)、代官山 旧山手通り界隈にて「代官山街歩き例会」が実施された。この例会は、同クラブが東京スピリット21LCから東京代官山LCに改称を行って一年を迎えるにあたり、新たなホームグラウンドである代官山地域への理解を深める目的で開催された。当日はあいにくの雨の中、代官山コンシェルジュの森田氏、野口氏並びに代官山蔦屋書店の御船氏の案内により、同地域の著名なレストランや商業施設或いは大使館などを散策。参加者は代官山の歴史や新たな魅力を発見した。



南三陸町に福祉車両を届ける

4月5日

東京新都心LC



2012年4月5日(木)東京新都心ライオンズクラブの会長、副会長、同クラブ復興支援委員会委員長らクラブメンバーらが東日本大震災被災地の宮城県南三陸町仮設役場を訪れ、去る3月11日(日)東京新宿区の新宿中央公園にて開催されたチャリティイベントにて集まったバザール売上金や、同クラブの指定ドネーションなどの基金で購入した、障害者用リフト付き福祉車両を届け、贈呈式を行った。贈呈式には南三陸町長のほか南三陸志津川ライオンズクラブ会長ほか同クラブメンバーや、役場関係者、330-A地区からは阿久津副地区ガバナーや複合地区グローバルアシスト委員らが立ち会った。同車両はその場で町長から南三陸社会福祉協議会に渡され、両クラブ友好の記念に、東京から持参した桜の苗木が、役場近くと、社会福祉協議会近くに植樹された。



20年継続して献血活動!献血採血者50,000人を達成

東京三軒茶屋LC

東京三軒茶屋ライオンズクラブは、1990年のクラブ結成当初から日本赤十字社の協力を得て、世田谷区内などで年間12回、献血会場を設営して活動している。2008年には、その成果として献血採血者50,000人を達成し、クラブメンバーら関係者も大変喜んでいる。また、同クラブメンバーは、骨髄ドナー登録推進にも説明員として協力している。一方、要らなくなったメガネのリユースとして発展途上国のメガネを必要とする人たちに、ライオンズのリサイクルセンターを通して送り続けており、メンバーらが関係するメガネ企業の協力を得て既に相当量を贈っているという。中古メガネの収集ボックスは、同クラブが例会場にしている「銀座アスター三軒茶屋実館」のレジの前にも設置されている。同クラブでは、その他にも環境保全運動として、地域の公園への植樹やソーラー照明灯の設置、地元小学校の児童と共に壁紙にモザイク絵制作など幅広い奉仕活動を続け、東京湾「海の森」計画にも毎年参加し、それに向けた棕の木苗木育成活動もメンバー各自で行っている。



7リジョン1ゾーン5クラブ合同の奉仕活動を実施 3月10日

7R1Z5クラブ共同



平成24年3月10日(土)7R1Z、荒川LC、北LC、赤羽LC、荒川西LC、中央南LCの5クラブは、合同アクティビティとして、福祉ボウリング大会を王子サンスクエアにて開催した。荒川区

内より聴覚障害者の方々等を招待し、前回震災の影響で自粛したこの催しも3回目を迎え、この日はメンバーと障害者の方々と混合でグループを組み得点を競いあい、白熱したゲームを展開した。ゲーム終了後の成績発表、懇親会場では大きな笑いにつまれながら、お互いの健闘を称えあい、メンバーは障害者らと楽しい時間を共有した。このアクティビティはこれからも続けていくとのこと。



東日本復興支援「宮城県物産店」を開催 3月11日

東京蔵前LC

2012年3月11日(日)東京蔵前ライオンズクラブでは第6リジョンの有志クラブらと共に、東京上野恩賜公園動物園前にて東日本大震災復興祈願「宮城県物産展」を開催した。同物産展は台東区のほか、宮城県白石市、ライオンズクラブ国際協会332-C地区や白石LCの後援を得て開催したとのこと。「開催趣旨はこの度の災害で被災に遭ったり、風評被害によりダメージを受けた会社、商店の商品を紹介し、販売するというものです。」(同クラブ)「商品は、332-C地区白石LCに窓口になって頂き35品目、300点以上の商品を買入れ、その売上金を白石市、332-C地区災害復興対策本部に全額(テント設営費等の諸経費を除く)を寄付するというものです。」(同クラブ)「このアクティビティには、白石市、白石観光協会、商工会、332-C地区、白石LC、330-A地区、台東区の小中学校関係など沢山の方々のご協力いただきました。」「当日の天気は心配でしたが、幸い好天に恵まれ公園に訪れる方も早めに来られ、開始時間を1時間30分早め9:00から開催いたしました。」「酒処宮城の日本酒の試飲、白石特産「温麺」(ウーメン)、仙台名産「萩の月」、味噌、饅頭などの試食もあり大盛況で終了時刻の4:00まで商品が持たず、3:00に売り切れ御免で閉店しました。」(いずれも同クラブメンバーのコメント)



継続して被災地へ物資を届ける

4月7日

東京柳橋LC

東京柳橋ライオンズクラブでは、昨年の震災の後、陸前高田市内のメンバーの親戚や被災地のライオンズクラブを通じて多くの被災地へ物資の供給が続いている。供給先は多方面にわたり、宮城県栗原若柳町、宮城県宮古市、岩手県陸前高田市、岩手県大船渡市、岩手県気仙沼市など同クラブ幹事のL阿部武寿のもとには被災された方々から、震災当日の様相や直後の混乱の様子も伝えられ、職場や住居を失った方、何もかもなくなってしまった街の様子、家族を失ってしまった現実、子どもの進学に悩む人々など、何とか命だけ助かった人たちのすさまじい現実と、物資の支援が大変喜ばれている様子が伝えられている。同クラブでは引き続き被災地への物資の支援を続けていくという。地道な奉仕活動が続けられている。



恒例となるニクラブ合同アクティビティを実施 3月20日

東京日本橋LC、東京隅田川LC



2012年3月20日(火)中央区の数寄屋橋公園に於いて、東京日本橋ライオンズクラブ、東京隅田川ライオンズクラブ合同による献血活動、東日本大震災の募金活動が行われた。

東京日本橋ライオンズクラブ家族会員を含めた両クラブの参加者約30名が人通りの多い銀座に於いて、両同クラブメンバーらが懸命に通行人に呼びかけ、通りがかった卒業生の袴姿の女子学生も募金に協力してくれ、募金は20万円以上が集まった。東日本大震災から1年を経過しても、まだまだ大震災への温かい支援は続きそうだ。この日の献血者は32名と報告された。



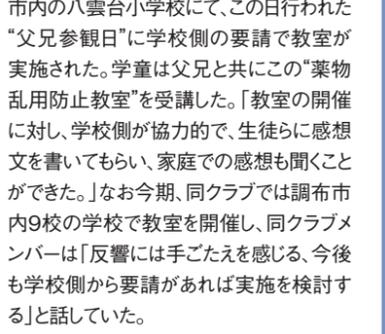
市内の小学校で積極的に薬物乱用防止教室を開催 2月17日

東京調布LC

東京調布ライオンズクラブは2012年2月17日(金)調布市立柏野小学校にて同校の6年生3クラスをそれぞれクラスごとに薬物乱用防止教室を開催した。同校



は都内でも珍しく田園風景が広がる環境下だが、児童数が急増しているようで、今後3クラスが増加する見込みだという。また翌2月18日(土)にも調布市内の八雲台小学校にて、この日行われた「父兄参観日」に学校側の要請で教室が実施された。学童は父兄と共にこの「薬物乱用防止教室」を受講した。「教室の開催に対し、学校側が協力的で、生徒らに感想文を書いてもらい、家庭での感想も聞くことができた。」なお今期、同クラブでは調布市内9校の学校で教室を開催し、同クラブメンバーは「反響には手ごたえを感じる、今後も学校側から要請があれば実施を検討する」と話していた。



震災復興支援チャリティコンサートを実施

3月12日

東京八王子陵東LC

2012年3月12日(月)東京八王子陵東ライオンズクラブでは、八王子オリンパスホールにて地元の有名歌手で夫人も同クラブメンバーとなっている「北島三郎」氏のコンサートを中心とした「東北復興支援・薬物乱用防止チャリティコンサート」を開催し、約2000名が参加してチャリティに協力した。この日は東京八王子陵東ライオンズクラブ所属のL石井征二(LCIFコーディネーター、元330-A地区ガバナー)よりチャリティ基金などとして復興支援金100万円が332-C地区志賀元ガバナーへ渡された。



桑都の日として結成7周年記念例会を開催

4月1日

チャリティコンサートの夕べを企画

東京桑都LC



14R1Z 東京桑都ライオンズクラブは2012年4月1日(日)を桑都の日として高橋屋(高尾山口駅近くの同クラブメンバー経営の蕎麦屋)において結成7周年記念例会を開催した。記念例会には八王子市市議会議員やLCIFコーディネーター元330-A地区ガバナーL石井征二ら関係者約30名が参加した。なお、同クラブでは記念事業として東日本大震災持続的支援活動、「子供の命と未来を守るコンポジウム」と題した「チャリティコンサートの夕べ」(ASKY楽団、弦楽三重奏)を平成24年5月19日(土)八王子学園都市センターにて開催する。この夕べでは福島第一原発からのレポートほかの特別フォーラムも開催される。



東京石泉ライオンズクラブ福祉音楽祭 in 練馬を開催

3月19日

東京石泉LC

2012年3月19日(月)東京石泉ライオンズクラブでは練馬区や練馬区社会福祉協議会などの後援を得て練馬文化センターにおいて「東京練馬石泉ライオンズクラブ福祉音楽祭in練馬」を開催した。音楽祭は、同クラブの35周年にあたり、感動を共有できる奉仕活動として検討され、練馬区社会福祉協議会から、区内の障害者福祉グループへの支援として提案され計画が実現した。同クラブメンバーは「今まで、個々の団体でのイベントはあったが、多くの仲間とのジョイント発表会は初めてのこと」「数か月にわたる打ち合わせや、様々な苦勞も出演者が喜ぶ姿を見て苦勞も吹き飛んだ」と喜び、今後も継続したいと語っていた。



ミュージカル「とびだす100通りのありがとう!」を支援

3月18日

7リジョン15クラブ



2012年3月18日(日)宮城県内の高校生や漁師ら、3歳から83歳までの被災者114名が出演するというミュージカル「とびだす100通りのありがとう!」(主催:ありがとうを言いに行こうプロジェクト)が東京銀座の銀座プロッサムで開催され、ライオンズクラブの地区内7リジョンの15クラブが出演者を、宮城県から輸送するチャーターバスを支援するなど、このミュージカルの開催を支えた。東京荒川西ライオンズクラブに所属する「支援する東京の会」実行委員長小林清三郎氏がリジョン内のクラブに呼びかけて支援が実現した。ミュージカルは大盛況で秋篠宮殿下ご夫妻や佳子さまも熱心に観劇した。さらにNHKでも報道されたほか、朝日新聞や日本経済新聞、石巻日日新聞などもミュージカル開催を報じた。



堅実なクラブ運営で新入会員を迎える

4月10日

東京スバルLC



2012年4月10日(火)東京スバルライオンズクラブでは新入会員として「雪乃さずき」さんを迎えた。この日入会式が執り行われたのは、クラブが例会場としている西武新宿駅近くの「スナックおいらく」にて、いつもの通り理事会を開催し、クラブの運営や奉仕活動について話し合ったのち、例会を開催した。新入会員として紹介されたのち「ライオンズの誓い」を宣誓しメンバーとなった。雪乃さんはキングレコード所属のエンタメシンガーとして、さらに五感セラピストとして活躍中。今後の活躍が大いに期待される。クラブは堅実なクラブ運営を基本方針とし、同クラブがメインアクティビティとしている盲導犬育成の募金活動なども、ライオン誌日本語版で紹介されている。



アイメイト(盲導犬)育成支援募金活動を実施

4月22日

東京城東LC



2012年4月22日(日)公益財団法人アイメイト教会(東京都練馬区関町)を支援する形で中央区の数寄屋橋交差点付近で募金活動を行った。参加者は東京城東ライオンズクラブメンバー8名、アイメイト後援会員2名で、この日は14~17時まで行った結果、募金額238,275円が集まり、アイメイト教会に渡された。この日は雨模様の為「盲導犬と視覚障害者の参加を中止した。」また、「通行者も少なめで、通常ほどの成果が出せなかった。」と同クラブメンバーが話していたが、「くもり空の下でも活動出来たのは幸運です。」とも話していた。



2011-2012 主要行事日程表

キャビネット会議

- 第4回 2012年 6月11日(月) 東京プリンスホテル ・会議・懇親会 未定 ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・複合地区役員
- 年次大会記念事業 「第13回東京都障害者スポーツ大会」 2012年5月26日(土)・27日(日) 予定

国際大会

- 第95回国際大会 2012年6月22日～26日 韓国・釜山
- 第51回東洋・東南アジア・ライオンズフォーラム(OSEAL)
2012年 11月8日～11日=ホスト地区MD337 日本・福岡県(福岡市)
- 第96回国際大会 2013年 7月 5日～9日=ドイツ、ハンブルグ
- 第97回国際大会 2014年 7月 4日～8日=カナダ、オンタリオ州 トロント
- 第98回国際大会 2015年 6月26日～30日=米国、ハワイ州 ホノルル
- 第99回国際大会 2016年 6月24日～28日=日本・福岡県(福岡市)
- 第100回国際大会(国際協会創立100周年記念大会)
2017年 6月30日～7月4日=米国、イリノイ州 シカゴ県(福岡市)



つぶやき

◆国際的な組織を持つ団体であるライオンズクラブも、各クラブや地区のリーダーは一年ごとに交代します。このため、どんどん新しい考えや、アイデアが導入され、常に新たな気持ちを持って活動ができる大きなメリットがあります。また、会員はだれでもクラブのリーダーになることができますが、選ばれる、または信任される必要があります。(各クラブや地区のリーダーが最終的な信任、選出を得て、就任するまでの期間を会長エレクト、ガバナーエレクトと呼びます)しかし、一方では一年ごとにリーダーが交代するため、複数年、あるいは中長期にわたる計画を立てることができません。あくまでも次のリーダーに託すということが基本になります。このため、リーダーの考えや方針が徹底されない間に、リーダーが交代することもあります。さらに各地区などの事務機関の管理監督が行き届かないなどの指摘もあります、国際組織として全世界に数十万人の会員を持つ巨大組織を持つパワーは相当なものがありますが、このような巨大なパワーを世の中の奉仕活動に向けて、効率よく効果的に発揮させるためには、各期のリーダー同士がしっかりとコミュニケーションを図る必要があります。リーダーは方針を示してメッセージを発しなければなりません。今後ますます、意思の伝達、広報活動の大切さが問われることになるでしょう。

(編集委員)

編集後記

実に楽しい、活気のある編集会議の連続。よく、イキの良い若者が集まったものだ。ユニークなアイデアと行動力、セーブするのが梶原委員長と柴田副委員長。編集長の番はあまりなし。結果は、作品をご覧ください。

編集長 L宇埜正純

この委員会は200クラブを取材するので、いろんな友人と出会うのがうれしい。来たれPR・情報委員会へ!

L鈴木郁郎

今期の地区ニュース表紙、イラストあり、ミスコン女性ありの斬新さ、編集長の顔色気にしながらも、みんなでやっつけました。

L高尾省吾

地区誌では、地区内各クラブの奉仕活動を、PR・情報委員会委員が取材して、地区内メンバーに伝えている手作りの広報誌です。

L柴田誠

この委員会の良さ・楽しさは参加してみないと解らないです。スカイツリーへのヘリコプター取材が最高でした。

L矢追秀紀

委員会活動を通じて本当に多くのアクティビティを知ることができました。そして、改めて「伝える事」の難しさも知りました。L小森康一

キャビネット事務局のドアを開ける、会議によく遅刻する私を笑顔で迎える。地道で誇り高き志士達! また笑顔で会いましょう!

L山口聖之

委員会で「突撃レポート」を提案し、取材したクラブにも喜ばれました。新たな仲間ができて、様々なクラブの奉仕活動を知ることができて勉強になりました。

L和崎健治

一年間編集に携わらせて頂き有難うございます。今後、益々多くの方に地区ニュースを読んで頂きたいです。

L桂太郎

この委員会に参加させて頂き、みんなで一つの目標に向かって突き進んでいく素晴らしさを味わわせていただき感謝しております。

L後藤裕文

アクティビティの撮影と編集に追われ、時々お会いする委員会メンバーの、温かいまなざしに出会うと疲れも吹き飛びます。楽しい一年でした。

L奥山貞夫

入会10年目、初めての委員会で、何もわからない中での参加でしたが、他クラブの先輩方との交流を通じ、多くの事を学ぶ事ができ、新たな経験になりました。

L新田尚志

今期は何の貢献もできず、ただ深く反省しております。地区の仕事の大切さや、難しさを知ることができました。

L佐藤武雄

心強い戦力重要な役割を担った委員の皆様、取材にご協力頂きました地区の方々皆様が積極的に精励され関わって下さったおかげと深く感謝いたします。

委員長 L梶原正和

【第3号の答え】年次大会

【第3号の当選者】当選者は次の通りです。南澤敏雄(東京秋川LC)、上條壽男(東京八王子桑都LC)、庄子守(東京ウエストLC)、林照子(東京尾張町LC)、芳須保行(東京小金井LC)以上おめでとうございます。賞品は発送しました。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
地区ニュース 第5号(For the future号)

The
Lions
News

発行日 2012年5月20日
発行 PR・情報委員会

PR・情報委員会

委員長 梶原 正和(小金井)
編集長 宇埜 正純(巣鴨)

編集委員 高尾 省吾(葵)
奥山 貞夫(葛飾)
和崎 健治(練馬)
矢追 秀紀(ウエスト)
柴田 誠(新都心)

編集委員 新田 尚志(麻布)
後藤 裕文(法政)
小森 康一(綾瀬)
山口 聖之(中央南)
桂 太郎(世田谷)
鈴木 郁朗(新宿)
佐藤 武雄(新都心)
戸矢崎 哲(中野)

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザB館2F
TEL (03) 5330-3330
FAX (03) 5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org